

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年6月29日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 61
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～畝刈っ子の心を見つめる教育週間 その3～

1000人パトロールです。2時間目の道徳科の授業参観が終わり、運動場に集合しました。



漁港交番の警察官の方もお二人かけつけてくださり、子供たちに不審者の遭遇した時や横断歩道の渡り方について、教えてくださいました。



育成協副会長からは、パトロールが始まるきっかけとなった事件についての話がありました。地域で子供たちを守ることができるように、みんなが顔見知りになり仲良くなることが大切ですね。



今回のパトロールにかけつけてくださった方々を紹介した後、パトロールについての説明がありました。



通学路の確認や子ども 110 番の家の確認をしながら、6 年生が中心となってパトロールを行います。



とても天気良くなり、日差しが照り付ける中でしたが、たくさんの保護者の皆さんや地域の皆さん、自治会や民生委員さん、中学校や園の先生方が参加してくださいました。



大きくは、さくらの里方面と畝刈方面に分かれ、パトロールを行いました。
6年生が、パトロールの呼びかけを順番に行いました。









最後は、決められた公園に集合し、それぞれの班で解散しました。

交通量の多いところを通過して登下校する子供たちもたくさんいます。人気のないところに入る子供たちもいます。自分の命は自分で守ることができるように、110番の家や近くのお店、危険箇所がないかをしっかりと確認する時間となりました。

地域の方々とも顔見知りになることができたのではないのでしょうか。人と人がつながることが、安心安全につながりますね。

「**子供は地域の宝**」「**地域の子供は地域で守る**」ことが大切になります。これからも、子供たちを温かく見守り続けていただきますよう、よろしくお願いいたします。

畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供と真ん中」の学校

「豊かな心を持ち、自分や周りの命を大切にする子供たち」を支えています。